

# 第 38 回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会議事録

日時：2023 年 9 月 30 日（木） 16:10～16:20

場所：JR 九州ステーションホテル小倉

出席者（別紙参照）

## 報告事項（事務局 村上より）

### 1. 大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

令和 5 年 8 月 30 日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。急性期医療機関は 192 件/3 ヶ月、回復期等連携医療機関は 168 件/3 ヶ月であり、運用開始から急性期医療機関、回復期等連携医療機関の両施設より受理した患者数は 4557 名、合計 9099 名の利用となった。

#### ・集計結果（全受理データ）

急性期医療機関、回復期等連携医療機関ごとの事務局の受理件数、事務局への未送信件数を示し、未送信分に関しては送信していただくよう呼びかけた。加えて全受理データを用いて、年代別利用状況、骨折型別発症割合について報告した（ホームページ上の集計結果を参照）。

### 2. 連携パスシートへの追加項目の検討—改訂版 5 回立ち上がり試験（5CS）の導入—

・北九州大腿骨近位部骨折地域連携パスシートは、多くの施設に導入頂き、急性期、回復期、生活期における患者の状況把握において大変重要な役割を示すが、各期において身体機能を示す一貫した評価指標の導入といった点で、課題を残していた。そこで今回改訂版 5CS の追加導入することを説明した。

・改訂版 5CS の測定方法として、測定環境において手すりや平行棒等の物的介助の使用許可以外は、通常の 5CS の測定方法に準じること報告した。

・中間解析報告として、2022 年 9 月から 2023 年 7 月で大腿骨近位部骨折の患者様 17 件の当院退院時に測定を実施した。解析結果として、検者内信頼性は級内相関係数（ICC） 0.968、検者間信頼性は ICC 0.980 とともに高かった。また改訂版 5TTS と各項目との関連では、術側及び非術側の下肢筋力、認知機能と相関を認めたと報告した。最後に今後さらに導入において検討していくことを報告した。

発表終了後座長より測定方法における問題がないか問われ、検査時の有害事象は認めなかったと報告した。

### 3. その他

- ・異動等で委員が不在の病院は、委員変更届を提出するようお願いした。
- ・当該病院のアルファベットに関しては、事務局まで問い合わせをお願いした。

## ご意見やご要望の連絡先

北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 産業医科大学リハビリテーション医学講座

担当職員：森口いづみ、担当医：徳永美月

Fax 093-691-3529

E-mail: reha@inbox.med.uoeh-u.ac.jp

文責 村上 武史、徳永 美月

北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局幹事

産業医科大学リハビリテーション医学講座 Tel 093-691-7266

2023年9月30日開催  
第38回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会

委員登録出席医療機関：

済生会八幡総合病院	北九州市立八幡病院	製鉄記念八幡病院
新小倉病院	北九州総合病院	新小文字病院
正和中央病院	小倉記念病院	産業医科大学病院
福岡新水巻病院	北九州市立医療センター	健和会大手町病院
正和なみき病院	新生会病院	戸畑けんわ病院
東筑病院	芳野病院	北九州安部山公園病院
小倉リハビリテーション病院	小倉きふね病院	北九州中央病院
北九州八幡東病院	西野病院	浅木病院
戸畑リハビリテーション病院	新中間病院	八幡慈恵病院
くらて病院	宮田病院	遠賀中間医師会おかがき病院
三萩野病院	門司メディカルセンター	